

様式 7

入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和 7 年 8 月 4 日（月） 島根大学本部棟 1 階第二会議室	
委員	委員長 深田 弘慶（公認会計士・税理士） 委員 江藤 雅博（行政書士） 委員 太田 潤一（島根県総務部営繕課長） 委員 門脇 直輝（弁護士）	
審議対象期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日	
抽出案件（合計）	6 件	（備考） ・今回の審議対象期間における再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
工事（小計）	5 件	
一般競争入札（政府調達に関する協定対象工事）	件	
一般競争入札（上記工事を除く）	4 件	
工事希望型競争入札	件	
通常指名競争入札	件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務（小計）	1 件	
公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）	件	
標準型プロポーザル方式	件	
一般競争入札	1 件	
随意契約	件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別 紙

質 問	回 答
1. 国立大学法人島根大学において発注した建設工事について (施設企画課より説明) ・特になし。 2. 国立大学法人島根大学において発注した設計・コンサルティング業務について (施設企画課より説明) ・特になし。 3. 指名停止等の措置について (施設企画課より説明) ・特になし。 4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について (施設企画課より説明) (深田委員において抽出いただいた案件について審議) ・特になし。 5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (施設企画課より工事概要等について説明) <u>(1) 一般競争入札 (最低価格落札方式)</u> 【(大輪) 附属義務教育学校後期課程校舎 屋上防水改修工事】 ・入札価格と予定価格の差額要因は何か。	・防水改修工事に係る直接工事費 (資材等

(2) 一般競争入札（最低価格落札方式） 【（北陵）地域未来協創本部空調設備改修工事】 ・競争参加者の資格等級を拡大した理由は何か。 (3) 一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型）） 【（医病）高エネルギー診療棟他改修電気設備工事】 ・1回目の入札時点で3者が辞退となった要因は何か。 ・競争参加者の資格等級を設定するための基準はあるか。 (4) 一般競争入札（最低価格落札方式） 【（医病）A・B病棟直流電源装置他蓄電池取替工事】 ・2回目の入札時点で4者が辞退となった要因は何か。	の経費）の部分において差額が生じていた。 ・本学における一般競争入札への参加実績を踏まえ、競争参加者が僅少となることが予想されたため、1級上位の「B」等級まで拡大した。 ・官公庁等が発注する工事と本学の公告期間が重複し、官公庁等の開札・契約手続きが先行したことで、本学に対し競争参加申請した配置予定技術者の配置が難しくなり、開札前に辞退したものと推測している。 ・資格等級の拡大において基準はないが、過去の実績や工事規模及び工事の内容等を考慮し設定を行っている。 ・1回目の入札結果における最低入札金額を考慮し、2回目の入札を辞退したと推測している。
---	---

(5) 随意契約 【(塩冶) 特別高圧受変電設備修繕工事】 ・他者ではできない修繕工事なのか。 ・メンテナンス業務と一緒に契約はしないのか。 (6) 一般競争入札 (最低価格落札方式) 【(塩冶) 第二共同研究棟改修設計業務 (建築)】 ・競争参加者を確保するため、入札公告を早期に設定する等公告期間を長くすることはできないか。 ・約3ヶ月間という履行期間は短くはないか。成果物に問題はなかったか。 6. 「入札監視委員会の運営等について」の一部改正について (施設企画課より説明) ・特になし。	・特別高圧受電設備の絶縁ガス漏れ修繕であり、特別高圧受変電設備の製造業者以外の者が修繕後の設備の性能保証をすることができないことから、製造業者との随意契約を締結している。 ・定期点検は製造業者以外でも対応可能であるため、製造業者に限定することなく一般競争による契約を締結している。 ・本学の公告予定は、文部科学省ホームページにおいても概要の閲覧可能である。建設工事及び設計・コンサルティング業務の発注見通しを四半期ごとに更新し、公表している。 ・履行可能な期間を設定しており、進捗状況においても都度確認しながら行っている。成果物にも問題はなかった。
---	--